



いのち 生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり

# 2010年もヨロシク!!



ラメールジャズオーケストラ ジャズパレット

2010  
1

No.62

- 2-3 市長・議長 新年のごあいさつ
- 4-5 平成21年 雲南市の主なできごと
- 6-7 雲南ニュース ほか
- 8-9 ふるさとウォッチング
- 10 わが家のホープ
- 11 こんにちは、栄養士です。ほか
- 12 ふるさと雲南への応援ありがとうございます
- 13 雲南市告知放送整備計画（概要）
- 14 こげなことしとーます研究所うんなん
- 15-22 雲南市からのお知らせ ほか
- 23 1月のイベントほか
- 24 「食」は生命ー学び・伝える 雲南の食育ー 最終回



# 新年のごあいさつ



## 虎は千里往つて千里還る

雲南市長 速水 雄一

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、謹んでお喜び申し上げます。

昨年は世界同時不況による経済危機を乗り越えるため経済対策が実施されるなか、政権交代による新内閣が発足しました。新政権では、改革の旗印の下に予算執行の一部凍結や事業中止をはじめ、来年度予算の見直しなどが進められ、国の政策が大幅に転換されました。

こうした急激で一方的な見直しは、地方への不安や困惑を招きました。一日も早い市民生活の安定と地域経済の活性化に向け、今後の国の方針、とりわけ来年度予算の状況を注視し、全力で取り組んでまいります。市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年の干支は寅です。「虎は千里往つて千里還る」という故事があります。これは、虎は一日で千里の道を往復できると言われることから、「勢いの盛んなさま」、「愛情の深いさま」を言います。この点にかかる今年の雲南省のまちづくりについて述べたいと思います。

前者は、2年に及ぶ準備期間を経て、この4

月にスタートする交流センターがまちづくりの拠点となり、それぞれの地域で特色を生かし、工夫を凝らした活動が「勢いよく盛んに」展開されるよう願うものであります。行政といたしましても最大限の支援を行う所存です。私自身も市内の隅々まで見渡し、市民の皆様との対話を大切にしていきたいと存じます。

後者の「愛情の深いさま」は、次代を担う人材の育成と高齢者の福祉についてであります。これらは地域全体でも取り組む課題であり、地域の深い愛情がなければ進められません。少子高齢化が進むなか、安全安心で本当に「幸運なんですね。雲南です。」が実感できるよう、幼稚園での預かり保育や三刀屋保育所の保育業務委託、中学生の職場体験学習等の推進、社会教育コーディネーターの配置など、地域の皆様と協力して「子育て環境日本一」をめざしたいと思います。

また、「身体教育医学研究所うんなん」を中心とした高齢者の腰痛や膝痛対策等の活動による「市民の皆様の生涯現役」をめざしたまちづくりも一層進めたいと存じます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を祈念して、年頭のあいさつといたします。

## 分かりやすく身近な議会へ



雲南市議会議長 堀江 眞

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には新春をお健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年はリーマンショック以後の金融危機による世界同時不況で、日本経済も急速な悪化を辿り深刻な状況が続きました。

百年に一度といわれる経済危機を乗り越えるため数次にわたり経済対策が実施されました。その効果は未だ見えない状況でありました。

そうした中、8月の第45回衆議院議員総選挙の結果、政権が交代し民主党を中心とした連立新政権発足で事業の仕分けに代表されるように、政治手法が大きく変わろうとしていますが、断じて地方が切り捨てられるようなことがあつてはならないと強く感じています。

雲南省では、国の経済対策に伴う経済危機臨時交付金事業等を活用し9月議会で約40億円の大型補正予算を組むなど、市内経済の活性化と市民生活の安定に努めてきました。

雲南省議会も、改選から1年が経過いたしました。市民の皆様に市議会の活動をより身近に

感じていただくために議会改革にも取り組んでまいりました。

中でも11月に開催した「議会報告会」は多くのご意見をお聞かせいただき有意義な報告会になりました。引き続きより多くの地区で実施できるように努力してまいります。

また一般質問に加えて各常任委員会及び予算委員会もテレビ録画放映いたしました。県内で初めての試みで新聞にも取り上げていただきました。

このほか議会広報も文字を大きく写真を多用するなど、より読みやすい紙面づくりに努力しています。

新年にあたり、より身近な分かりやすい市議会をめざし、皆様の声を市政にしつかり届けていくことを、全議員決意を新たにしています。

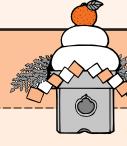
市民の皆様には、一層のご理解とご協力をお願いし、忌憚のないご意見とご叱声をお聞かせください。

皆様のご健康とご多幸を祈念し年頭のごあいさつといたします。

# 平成21年 雲南市の主なできごと

**1月 January**

- 11日 雲南市消防出初式
- 15日 「菅谷たたらとかつらの木」第16回しまね景観賞大賞を受賞 ①
- 19日 三刀屋農村環境改善メインセンター・三刀屋総合センター竣工式 ②
- 13日 優良建設工事表彰式
- 31日 しまね田舎ツーリズム推進大会in雲南




**3月 March**

- 3日 雲南病院あり方懇談会が報告書を提出（これを受けて市立病院化の方針決定）
- 6日 定額給付金申請受付開始
- 8日 雲南神楽フェスティバル
- 12日 子育て応援特別手当申請受付開始
- 31日 「海潮温泉健康ランドゆとりの里」閉鎖

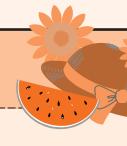



**7月 July**

- 1日 市政懇談会スタート
- 11日 雲南の地域医療を考えるシンポジウム

**8月 August**

- 5日 「歴史と食の幸」活用推進協議会スタート
- 9日 県消防操法大会で掛合方面隊が準優勝
- 14日 雲南市成人式
- 21日・22日 English Summer School  
in Unnan 2009 ⑥




**10月 October**

- 1日 市民バスの予約型運行開始(吉田地区) ⑧
- 13日 雲南市総合社会福祉大会
- 25日 第5回日本たまごかけごはんシンポジウム



**11月 November**

- 5日 健康ひろばオープン ⑨
- 7日・8日 幸雲南塾inさんべ
- 11日 韓国清道郡友好親善交流団が雲南市訪問 ⑩
- 22日 雲南市こどもまつり




**2月 February**

- 11日 総合的な放課後子どもプラン推進シンポジウム
- 20日 雲南市農商工連携協議会設立 ③



**6月 June**

- 6日 第4回地域振興補助金活用事業報告会
- 13日 第4回食育推進全国大会(松江市)で雲南市の取り組みを発表
- 22日 海潮温泉温浴施設整備検討委員会発足 ⑤



**9月 September**

- 7日 雲南市戦没者追悼式
- 13日 第19回永井隆平和賞発表式典
- 29日～10月1日 「夢」発見ウィーク（中学生職場体験学習）⑦



**12月 December**

- 6日 雲南市教育フェスタ2009
- 6日 第3回雲南市歳末余芸大会



## 第3回雲南市民歳末余芸大会

### 笑う角には福来る

12月6日、三刀屋町のアスパルで第3回雲南市民歳末余芸大会が開かれ、市内21団体（個人を含む）が歌や踊りなどを披露しました。年末の恒例行事として定着してきた余芸大会。会場につめかけた観客およそ1000人が多彩なステージを楽しみました。

今大会で得られた収益金は、雲南市内の福祉事業に充てられます。



P.L島根MBA・バトントワリング  
「ディズニーランドで大騒ぎ!!」



藤間流木次勘愁会・日本舞踊「元禄花見踊」



三刀屋小・中学校銭太鼓クラブと五月会・銭太鼓「大黒様」

### 「ものづくり経営革新塾」実践成果発表会

### 「ムダとり」で現場を活性化

三刀屋農村環境改善メインセンターで11月27日、「ものづくり経営革新塾」実践成果発表会が開かれました。同塾は、製造業の現場の「ムダとり」を実践的に学習してもらおうと雲南市商工会と雲南市が共同で実施

したもので、参加者が雲南市内の企業で現場改善方法を学びました。今回の発表会では、企業の枠を超えて参加した5～7人ずつの3つのグループが、作業動線に合わせた人員の配置や製造部品の管理・収納方法、生産目標や進捗状況の把握など、5ヶ月にわたる研修成果を発表。細かくムダを取り除き、効率的な業務を行うことで、経費削減や売り上げの向上が見込まれることを報告しました。

今回の活動が継続して行われることで、雲南の「ものづくり」のさらなる発展が期待されます。



## 雲南市教育フェスタ2009 学校・家庭・地域の連携を考える

木次町のチエリヴァホールで12月6日、雲南市教育フェスタ2009が開催されました。

雲南市では、学校・家庭・地域がそれぞれの立場で責任を持つて子どもを育てるのはもちろんのこと、「夢」発見プログラムなど、お互いに連携しています。フェスタでは、これらの成果や課題を発表し、参加者全員で今後の取り組みのあり方などを考えました。



掛合小学校PTA会長の藤原博さんは「保小中高の連携した取り組み」を発表。学校（保育所）の枠を超えた保育所、小学校、中学校、高校の縦の連携や保護者・地域も巻き込んだ交流活動を紹介しました。

「学校支援地域本部事業の今後の在り方について考える」と題したシンボジウムでは、「今後の学校・家庭・地域の連携・協力」、「学校支援」をキーワードに、地域と学校のむすびつきを深める方策について議論されました。



### きずな・夢・ふるさと 雲南市「じどまつり

11月22日、三刀屋町のアスパルで合併5周年を記念した「雲南市こどもまつり」が開催され、およそ600人の親子連れなどにぎわいました。

イベントのテーマは「きずな・夢・ふるさと」。地域全体で子どもの健全な育成のための環境づくりの気運を高める場、子育て支援に関わる各種団体や子育て世代の交流の場として開かれました。

クラリネット奏者の高見美由紀さんによる「親子で楽しむミニクラシックコンサート」や地元を中心活躍している「ママングラッセコンサート」などのステージイベントのほか、ブログ体験講座や子育て支援センター、子育てサロンの活動紹介コーナーなど様々なブースが設けられ、来場者は楽しいひとときを過ごしました。

市内の3歳から5歳までの子どもたちが描いた、心豊かな絵画作品120点を展示したコーナーも来場者の人気を集めっていました。

雲南市では、今後も「子育てするなら雲南市」を合言葉に、「安心して子育てのできる支えあいのあるまち」づくりをすすめています。

◆意見の募集期間 12月25日(金)～平成22年1月25日(月)

【問】教育総務課

☎0854-40-1071

躍

動

雲南市長の「」

## 癒しの集落営農が創り出す未来

**木** 次町湯村の楓之屋振興会（斎藤文隆会長）が11月23日、第31回豊かなむらづくり全国表彰事業の日本農林漁業振興会会長賞を受賞しました。

ダム建設に伴う公民館移転問題を契機に住民が非営利法人「楓之屋振興会」を設立したのが平成13年。地区住民全戸が参加し、環境改善活動、生活改善活動に取り組んできました。農業生産組織である農事組合法人楓之屋ヒーリングと連携して、多面的なむらづくりや営農活動の実践・支援など、地区全体の活性化にも取り組んでいます。

斎藤会長は「環境・生活改善部門の振興会と生産部門の楓之屋ヒーリングの住み分けが収賄につながつたのではないか。これからも楓之屋地区の暮らしと農地・農業を守つていかなければならぬ」と、さらなる地域の発展をめざしました。



11月25日、楓之屋振興会の斎藤文隆会長（右から2人目）、杉山正美副会長（左端）、斎藤義明会計担当（右端）が速水市長に日本農林漁業振興会会长賞の受賞を報告。

## 小村徳男サッカー教室

**サ** ッカーのフランスワールドカップ（1998年）日本代表の小村徳男さんを講師に招いたサッカー教室が11月29日、加茂中央公園ふれあいの丘多目的広場で開かれ、市内のサッカー教室に通う小学生100人が参加しました。



教室は、小学1年～3年のキッズクラスと小学4年～中学3年のジュニアクラスに分かれて開催。小村さんからシュート、ドリブルなどの基本を教わったり、ミニゲームで対戦したりと、子どもたちは真剣な表情でボールを追いかけていました。

## 卒寿 渋川恒夫 花鳥展

**雲** 南市を代表する芸術家の一人、渋川恒夫さんの作品展『雲南市合併5周年記念「卒寿 渋川恒夫」花鳥展』が11月21日から23日までチエリヴィアホールで開催されました。

世界各國での受賞絵画をはじめ、漆芸品や陶芸品などを64点が豪華に並んだ会場では、渋川さんが自ら作品を説明。来場者はその説明を聞きながら作品を鑑賞していました。



## 尾原ダムどんぐり・竹ポット引き渡し式

**尾** 原ダム展望広場（木次町平田）で11月27日、斐伊川流域の小学生による「どんぐり」の苗作り活動が行われました。

建設のためにできた斜面に森を取り戻すため行われているこの活動。奥出雲町、雲南市、松江市の7つの小学校から150人の児童が集まり、竹ポットにどんぐりの種を植えました。育った苗は平成22年の春にダム周辺に植栽されることになります。



**出雲追分全国優勝大会**

新歌詞最優秀賞 加茂町のラメールで11月23日に開かれた第20回出雲追分全国優勝記念大会。優勝記念大会「唄」、「尺八」、「絃」の各部で審査が行われ、出場者101人が日ごろの練習の成果を披露しました。

20回の記念大会を前に出雲追分保存会では新歌詞を募集。市内外から180点が寄せられました。大会の審査開始前に新歌詞入選発表が行われ、最優秀賞に選ばれた升田良治さんら10人が表彰を受けました。

新歌詞最優秀賞 宇道湖水は 升田良治さん

朝日に明ける 暮れは西の（アノ）嫁が島



**郷土の誇りを**

**「砂子原誌」発刊**

地域自主組織「砂子原自治連合会（加茂町）」が10月1日、平成16年から進めてきた郷土誌「砂子原誌」を発刊しました。

「先人の努力に感謝し、地域への愛情と誇りをもつてさらなる発展を願う」と誇りをもつてさらなる発展を願う思いで編集された同誌は456ページの大冊。出雲国十郡村附絵図や戦宗教・産業・生活・古い遊び・出雲弁などが記載された地域外の方にも興味深い内容となっています。



「砂子原誌編纂委員会」の（左から）坂本茂利総務担当、坂本和憲副委員長、土江暁一委員長、坂本英治会計担当。

今後は、同誌をもとに講演会を開催するなど、地区外の人にも広く呼びかけ、郷土への理解を深める取り組みが計画されています。

「砂子原誌」は1冊5,000円で販売されます。  
【申し込み】砂子原誌編纂委員会 坂本英治さん（☎090-4576-3496）



見ずには消去されなど、大変な苦労と悲しい思い出を秘めての発刊となりました。

20回の記念大会を前に出雲追分保存会では新歌詞を募集。市内外から180点が寄せられました。大会の審査開始前に新歌詞入選発表が行われ、最優秀賞に選ばれた升田良治さんが表彰を受けました。

今後は、同誌をもと

に講演会を開催するなど、地区外の人にも広く呼びかけ、郷土への理解を深める取り組みが計画されています。



平成21年度

## 『8020よい歯のコンクール』 受賞者発表!!

優秀賞

歯の本数  
28本



大東町 足立 美枝さん

今年度のコンクールは県内で99人の応募があり、雲南市では優秀賞・優良賞あわせて8人が受賞されました。

80歳になっても自分の歯を20本以上保つには、子どもの頃から歯を守っていくことが大切ですね。

賞をいただきとても驚いています。

今まで自分の歯のことを意識していなかったのですが、今回の受賞が自分の歯を知るきっかけになりました。丁寧に歯を磨くこと、かかりつけの歯科医院で定期的に歯をみてもらうことを心がけています。

自分の歯でなんでも食べられることはとてもうれしいことです。いい歯に産んでもらった親、歯医者の先生、歯科衛生士のみなさんのおかげだと思っています。ありがとうございました。

優良賞



掛合町 藤原ミヨコさん



掛合町 坪倉 登さん



大東町 岡田サダ子さん



木次町 小田川光徳さん



大東町 青木 幸子さん



木次町 藤原 勇夫さん



木次町 松本 澄江さん

卵と緑黄色野菜で風邪予防  
卵に含まれるリチゾームは、

辛味成分は血液を刺激し、循環を良くします。体の芯から温めてくれる効果もありますので、ピリ辛で温かいものを食べ、ゆっくり休むと風邪のひき始めには効果的です。

解熱・咳止めに効く食材

市内でも大流行しています。予防ができますが、今月は食事での風邪予防についてお伝えします。

風邪予防に効く  
食生活について



風邪薬にも含まれています。

卵酒を飲んだり、卵うどんや卵雑炊のような温かい食べ物を取るとよいです。

卵黄色野菜は鉄・ビタミンA・Cなどが豊富です。粘膜の弱い目・鼻・のど・耳と粘膜保護のために積極的に摂取しましよう。

逆に避けたい食事は、生野菜・刺身・揚げ物・脂肪の多い肉・魚・酸味の強いもの、塩分の多いものなどです。

また、水分が不足すると風邪をひきやすくなるので、冬場でも水分を多めに取ることを心掛けましょう。

最後に、一日三食バランスよく!!これが基本です。年

末年始の暴飲暴食に加えインフルエンザや風邪の流行により、体に負担がかかる時期です。自分の体は自分しか守ることができません。体に優しい食材を選んでおいしく食べ、強い体を作りましょう。

1月で満1歳  
おめでとう

わが家の  
HOPE  
ホーム



廣澤 順さん・美寿々さんのお子さん



加本泰之さん・尚子さんのお子さん



鶴原 健さん・尚子さんのお子さん



菅田悠介さん・直子さんのお子さん



森山博之さん・幸恵さんのお子さん



高尾洋一さん・あゆみさんのお子さん



安部 克さん・絵里子さんのお子さん

2月で満1歳(平成21年2月生まれ)  
のお子さんを募集!

写真に①お子さんの名前(ふりがな)、②お子さんの誕生日、③ご両親の名前(ふりがな)、④住所、⑤電話番号、⑥コメント(40字程度)を添え、郵便またはE-Mailで**1月7日(木)**までに情報政策課へお送りください。

郵送される場合のあて先 〒699-1392 雲南省木次町木次1013-1

雲南省役所情報政策課「わが家のホープ」係

E-Mailを送られる場合のあて先 jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp

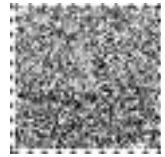
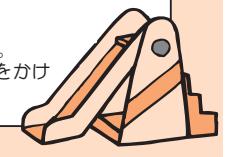
(タイトルは「わが家のホープ」としてください。)

【問】情報政策課 ☎0854-40-1015

※市ホームページにも市報うんなんを掲載します。

※お送りいただく個人情報は「わが家のホープ」以外の目的には使用しません。

※郵便物またはメールが届きましたら、情報政策課から「到着確認」の電話をかけます。投稿後、当課からの電話がないときはお問い合わせください。



☎0854-40-1045

# 雲南市告知放送整備計画(概要)

現在、市が進めている告知放送整備事業について、その概要をお知らせします。  
情報政策課 ☎0854-40-1015

## 1. 整備の目的

雲南市は合併後5年を経過しましたが、告知放送は各町で行っています。市役所本庁の災害対策本部から避難勧告などの緊急放送が行えず、平成18年豪雨災害時には総合センターから行いました。また、昨年の大雪による停電時には、告知放送が流れない地域があるなど、課題を抱えて今日に至っています。

今回、災害等緊急放送の市内一斉放送の整備を進め、今後実施を予定している国の全国瞬時警報システム（J-アラート）や雲南市災害時要援護者避難支援事業との連携を図り、雲南市の防災対策を一層強化します。

## 2. 整備計画

(1) 整備期間：平成20年度～22年度

(2) 総事業費 2億4,612万円  
(加入者の室内工事費は除く)

(3) 自治会集会所、市営住宅、消防格納庫は市が設置します。

(4) 整備は雲南市・飯南町事務組合ケーブルテレビ事業部（雲南夢ネット）が行います。

年度	事業概要	事業費
H20	全体設計 三刀屋総合センター整備 他	3,087万円
H21	三刀屋町告知端末整備 大東インターフェイス整備	5,986万円
	加茂町・掛合町個別端末整備 他	8,039万円
H22	木次町個別受信端末整備 他	7,500万円
	計	2億4,612万円

## 3. 説明会で出された主な質問と回答 (Q & A)

### Q1 // 申し込みは強制なのか？ (共通)

A：強制ではありません。しかし、緊急時の情報伝達手段の確保という趣旨から、できる限りの設置をお願いします。

### Q2 // 標準工事費14,000円は適正なのか？ (共通)

A：室内工事費の当初見積額は同軸ケーブル長により18,500円～26,000円でした。加入者の皆様の負担軽減を図り、発注者である雲南市・飯南町事務組合と工事業者とで協議した結果、標準工事費14,000円（税込み）となりました。また、工事費の支払いを自治会で取りまとめていただける場合は、さらに1,000円割引の13,000円となりました。

### Q3 // 新たに室内配線が必要なのか？ (加茂町・掛合町)

A：大部分の世帯では告知放送用の配線をテレビ側で分岐していますが、ブースター（増幅器）が設置されている場合、停電時に放送が流れません。また今後デジタル放送に移行する場合、新たにブースターを設置されることが予想されますので、個別端末専用線を準備いただく必要があります。

### Q4 // 現在の受信機では放送が流れないのか？ (加茂町・掛合町)

A：加茂町は制御方式が異なり、掛合町はメーカーが異なるため、いずれも機器を更新しないと放送が流れません。

### Q5 // 計画が急ではないのか？ 室内工事費の負担が大きい。 (加茂町・掛合町)

A：国の有利な交付金を財源に、平成23年度以降に計画していた事業を前倒しで実施することになりました。今回、加茂町、掛合町の皆様には整備計画が早まりご迷惑をお掛けしますが、ご理解をお願いします。

室内工事費の請求は平成22年5月ごろの予定です。今から各家庭で積み立て等の準備をお願いします。

### Q6 // JA雲南の有線放送電話は今後どうなるのか？ (木次町)

A：12月3日、JA雲南木次地区別総代会が開催され、平成23年3月末をもって廃止することが承認されました。正式には来年開催予定の全体総代会で機関決定される見込みです。市としてはその決定を待って対応を協議します。

## ふるさと雲南への応援

ありがとうございます

雲南市では、ふるさと雲南のまちづくりを「寄附」というかたちで応援していただく制度として、平成20年6月に「雲南市寄附によるふるさと政策選択条例」を制定しました。以来延べ55人の皆様から24,087,000円もの寄附をいただきました。(11月末現在)

皆様からいただいた寄附は、ご指定の使途に有効に活用させていただくこととしており、これまでに2つの事業を予算化しました。

この制度は、皆様からいただいた寄附により成立する制度です。ふるさと雲南の未来に向けて、今後とも皆様からの応援をよろしくお願いします。

### お申し込みの際に、寄附金の使途を

### 7つの政策(事業)からお選びいただけます。

## 寄附金の使途

#### ①市民提案に関する事業

・文化芸術による雲南の子ども育成事業  
(市民団体からの提案事業です)

市内の子どもたちに、良質で本物の舞台芸術や、プロのアーティスト等による指導や交流などの機会を無償で提供します。

#### ②住民自治に関する事業

地域福祉活動の充実、コミュニティビジネスの支援などを行います。

#### ③定住環境に関する事業

さくらの名所づくりと桜守育成支援、市民主体の風景づくりなどを行います。

#### ④保健・医療・福祉に関する事業

子どもの健全な身体を育む活動展開、運動指導者育成などを行います。

#### ⑤教育・文化に関する事業

ふるさと読本作成、キャリア教育（職場体験など）、食育活動などを行います。

#### ⑥産業・雇用に関する事業

映画や地域資源を活用した観光ツアーや開発、観光ボランティア育成などを行います。

#### ⑦市長が特に必要と認める事業

銅鐸や神話に関わる情報発信と交流、食を核とした交流などを行います。

◆これまでに、下記の事業に寄附金を活用しています。

- ・身体の痛みを予防する体操の普及啓発事業（保健・医療・福祉に関する事業）
- ・職場体験学習「夢」発見ウィーク事業（教育・文化に関する事業）

島根県と県内市町村で共同運営する「しまね電子申請サービス」を利用し、申し込み手続きを行うこともできます。次のURLコードに接続し、「団体検索」から雲南市を選び、申込画面へお進みください。

<http://www.shimane.elg-front.jp/navi/index.html>

携帯電話からの接続に際し、右の二次元バーコードをご利用いただくと便利です。

【問い合わせ】政策推進課 ☎0854-40-1011





●**年金記録の確認のお知らせ**  
未統合記録の調査を進め  
結果、年金受給に結びつく記  
録があると思われる方には  
「年金記録の確認のお知らせ」  
の送付があります。送付され  
る方などは回答をしていただ  
きます。

送付用の封筒は2種類あり、  
オレンジ色の封筒は年金記録  
にもれ等がある可能性のある  
方、水色の封筒はそれ以外の  
方です。

ねんきん定期便には「年金  
加入記録回答票」が同封され  
ています。「ねんきん特別便」  
にご回答いただきていらない方  
や年金加入記録にもれ等があ  
る方などは回答をしていただ  
きます。

市民環境生活課

☎ 0854-40-1031

●**ねんきん定期便**

平成21年4月から社会保険  
庁は、国民年金及び厚生年金  
に加入している方に、「ねん  
きん定期便」を送付していま  
す。

これは、加入者一人ひとり  
に対し、保険料納付実績や年  
金額の見込みなどを分かりや  
くお知らせするために、毎  
年の誕生日に送付するもので  
す。

社会保険庁から送付された  
納付書で

○毎月の保険料14,660  
円（平成21年度）を翌月末  
日までに納めます。納め忘れ  
てしまい2年経つと、時  
効で納めることができなく  
なりますのでご注意ください。  
されます。

●**口座振替で**  
口座振替なら毎月自動で引  
き落とされますので、納め忘  
れもなく便利です。当月末振  
替の「早割」でお申込みいた  
だくと、保険料が毎月50円割  
引されます。

○毎月の保険料14,660  
円（平成21年度）を翌月末  
日までに納めます。納め忘れ  
てしまい2年経つと、時  
効で納めることができなく  
なりますのでご注意ください。  
と認めましょう。

●**第1号被保険者の保険料納付  
方法**

国民年金の保険料は、20歳  
から60歳までの40年間納める  
ことになります。保険料の  
納め忘れがあると、将来の  
年金額が減額になるだけでな  
く、もしものときの障害年金  
遺族年金が受けられなくなる  
ことがありますので、きちんと  
と認めましょう。

●**国民年金の納め忘れは  
ありませんか？**

●**年金記録の確認のお知らせ**  
未統合記録の調査を進め  
結果、年金受給に結びつく記  
録があると思われる方には  
「年金記録の確認のお知らせ」  
の送付があります。送付され  
る方などは回答をしていただ  
きます。

## 下水道への接続を！

下水道に接続することで、汚水が浄化され、河川や海がきれいになります。美しい自然環境を守り、より豊かな生活環境を築くため、積極的に下水道に接続しましょう。

下水道課 ☎ 0854-42-3471

島根社会保険事務局出雲事務所

☎ 0853-24-0040

松江社会保険事務所

☎ 0852-26-2800

月曜～金曜 午前9時～午後5時

ねんきん定期便専用ダイヤル

☎ 0570-058-5555

第2土曜日 午前9時～午後5時

ねんきん定期便専用ダイヤル

☎ 0854-40-1031

市民環境生活課

☎ 0854-40-1031

●**年金記録の確認**

た記録をご確認後、同封の回  
答票により回答していただき  
ます。



●**追加額**  
追納する保険料は、承認を  
受けた年度から3年度目以降、  
保険料の免除を受けた当時の  
保険料額に、経過期間に応じ  
て定められた加算率を乗じて  
得た額を加算した額になります。

●**追納できない方：**  
老齢基礎年金、旧国民年金  
の老齢年金、通算老齢年金の  
受給権者の方。

●**保険料の追納制度**  
○国民年金保険料免除制度や  
学生納付条例、若年者納付  
猶予制度を受けておられた  
方は、その後、免除の承認  
を受けていた期間分の保険  
料を遡って納付することが  
できます。

税務課 ☎ 0854-40-1034

## 農業所得の申告相談

農業所得は、平成18年分よりすべて収支計算（各農家で収入から必要経費を差し引いて農業所得を算出する方法）による申告となっています。雲南市では農業所得について、次の日程で事前相談を行います。

●**農業所得の申告相談**

会 場	相談日(土・日曜日は除く) 9:00～11:30 13:00～16:00
大東総合センター	1月22日(金)～1月29日(金)
加茂総合センター	2月1日(月)～2月3日(水)
木次総合センター	1月25日(月)～1月29日(金)
三刀屋総合センター	2月1日(月)～2月5日(金)
吉田総合センター	1月25日(月)・1月26日(火)
田井出張所	1月27日(水)・1月28日(木)
掛合総合センター	1月29日(金)・2月2日(火)・3日(水)
波多ふるさと活性化センター	2月1日(月)

## 広 告 枠

私たちちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

## 広 告 枠

私たちちは、雲南市のまちづくりを応援しています。



人権センター教養文化教室

**白菜キムチ作り教室**

朝鮮の本場キムチ作りを習いながら、  
朝鮮の食を含めた異文化を学びましょう。

とき 1月26日(火) 9:30~13:00  
ところ 新市中央集会所(木次町新市)  
対象 雲南市民(定員10人・先着順)  
※材料費(1,000円程度)が必要です。

【申し込み・問い合わせ】  
雲南市人権センター ☎0854-42-1767  
e-mail:jinkensuishin@city.unnan.shimane.jp

日時 2月6日(土) 13:30~15:30  
場所 チェリヴァホール  
講師 芝原生活文化研究所 代表 辻本一英さん  
阿波木偶箱廻しを復活する会  
代表 中内正子さん・南 公代さん

(徳島県内の被差別部落で伝承されてきた民俗芸能。  
一旦は、その姿が消えたが、復活! 福をもたらす  
でこまわしを熱演!!)

【問い合わせ】  
雲南市人権センター ☎0854-42-1767

男女共同参画チャレンジセミナー

**白菜キムチ作り教室**

**男性限定!**

まずは、キムチ作りにチャレンジ!  
お父さんの手作りキムチに家族も感激…。

とき 1月29日(金) 9:30~13:00  
ところ 一宮公民館(三刀屋町給下)  
対象 雲南市民(男性限定・定員15人・先着順)  
※材料費(1,000円程度)が必要です。

【申し込み・問い合わせ】  
雲南市男女共同参画センター ☎0854-42-1767  
e-mail:danjyokyoudou@city.unnan.shimane.jp  
一宮公民館 ☎0854-45-2544

**ダム湖名募集中**

平成22年度末完成予定の志津見ダム、尾原ダムのダム湖名を募集しています。(募集要項は総合センター、公民館等の窓口にあります。)

ダムが完成すると川が堰き止められ、ダムの上流には、大きな湖が誕生します。この湖の誕生により、周辺の自然環境と調和した風景を生み出します。この「湖」にふさわしい名称を考えてみませんか。

【応募先】〒693-0015 出雲市大津朝倉3-5-3  
国土交通省 豊伊川・神戸川総合開発工事事務所  
☎0853-21-1650・FAX0853-21-7304  
HP:<http://www.cgr.mlit.go.jp/hiiikawa/index.htm>  
【応募方法】湖名、理由、住所、氏名を明記し、ハガキ、FAX、E-mailのいずれかで応募してください。  
【締め切り】平成22年1月31日

社会教育課

☎0854-40-1073

毎月第3日曜日は  
**うんなん家庭の日**  
1月は「うんなん家庭の日」普及実践強調  
1月は  
**17日**

家族で語り合ったり、一緒に食事をしたり、  
家事を分担したり。身近なことから始めてみてください。

**広告枠**

認知症地域支援推進事業のモデル地区決定

地域包括支援センター ☎0854-40-1043

いつまでも安心して暮らせる地域づくりをめざし、認知症の正しい理解や知識の普及啓発等に取り組んでいます。この中でより重点的な取り組みを行う、モデル地区(平成21年11月～平成23年3月)が決定しました。モデル地区では、地区福祉委員会を中心とした地区での活動にも取り組みます。

【モデル地区】

○大東町阿用地区  
○加茂町全地区  
○三刀屋町飯石地区

水道管の凍結にご注意ください

営業課 ☎0854-42-5322

気温がマイナス3℃以下になると水道が凍結し、水が出なくなったり水道管が破裂したりする恐れがあります。家まりの水道を点検し、防寒対策をしましょう。

水道管の凍結による破裂・故障修理は、雲南市指定給

☆庭先の水栓柱には、布やビニール袋などをかぶせ保温しましよう。  
☆外壁露出水道管は、発泡スチロール製の保温材や凍結防止ヒーターなどを巻いて防護しましよう。  
☆凍結しやすい立ち上がり水道管には、水抜き栓を取り付けることも有効です。  
☆長らく留守にする時は、必ず元栓を閉めましょう。離れ車庫・倉庫など、ふだん使わない水道にはバルブを設置して閉めておきましょう。

☆水道管が凍つてしまったら、タオルや布をあて、その上からゆっくりお湯をかけて溶かします。これから時季は、降雪により水道メーターボックスの位置がわからなくなることがあります。降雪時には、水道メーターボックス付近の除雪に協力をお願いします。

改定前に用途別料金体系たつた大東町・加茂町・掛合町で、一般生活用として口径20mm、25mmのメーターを設置される方が、その口径を小さく

いる方が、その口径を小さく緩和するための措置を現在行っています。この経過措置期間は今年度が最終年度となります。改定前に用途別料金体系に改定しました。

料金改定にあたって、改定率で旧町村間に生じる格差を緩和するための措置を現在行っています。この経過措置期間は今年度が最終年度となります。

改定前に用途別料金体系たつた大東町・加茂町・掛合町で、一般生活用として口径20mm、25mmのメーターを設置される方が、その口径を小さく緩和するための措置を現在行っています。この経過措置期間は今年度が最終年度となります。

改定水道料金(消費税込み)

水道メーター口径	基本料金(1月につき)	従量料金(1m <sup>3</sup> につき)			
		0~8m <sup>3</sup>	9~25m <sup>3</sup>	26~50m <sup>3</sup>	51m <sup>3</sup> 以上
13mm	1,150円	0円	190円	230円	260円
20mm	2,450円 [1,220円]				
25mm	3,880円 [1,940円]				
30mm	6,090円 [3,040円]				
40mm	10,240円 [5,120円]				
50mm	18,790円 [9,390円]				
75mm	38,890円 [19,440円]				
100mm	68,640円 [34,320円]				[240円]

※〔 〕内は激変緩和措置期間の料金

水道料金激変緩和措置期間の終了等

再掲

量等のお知らせや水道メーターのふたに表示してありますのでご確認ください。

●水道料金激変緩和措置

メータ一口径20mm以上の基

本料金を50%低減、従量料金51m<sup>3</sup>以上部分の1m<sup>3</sup>当たり260円を240円に低減

**広告枠**





# 『食』は生命

## — 学び・伝える 雲南の食育 — シリーズ⑨ 最終回

シリーズで紹介してきた雲南市食育推進計画は、今回で最後となります。市民の皆さんにあらためて計画へのご協力をお願いし、食や生命が大切にされる地域づくりをめざします。



**子ども「食の実践」プロジェクト**では、子どもに向けた取り組みとして市内全小中学校が実施している「弁当の日」をはじめ調理活動や食や農の体験活動など実践的な活動を推進します。ぜひ、家族と一緒に取り組んでください。何より家族団らんが食育です。



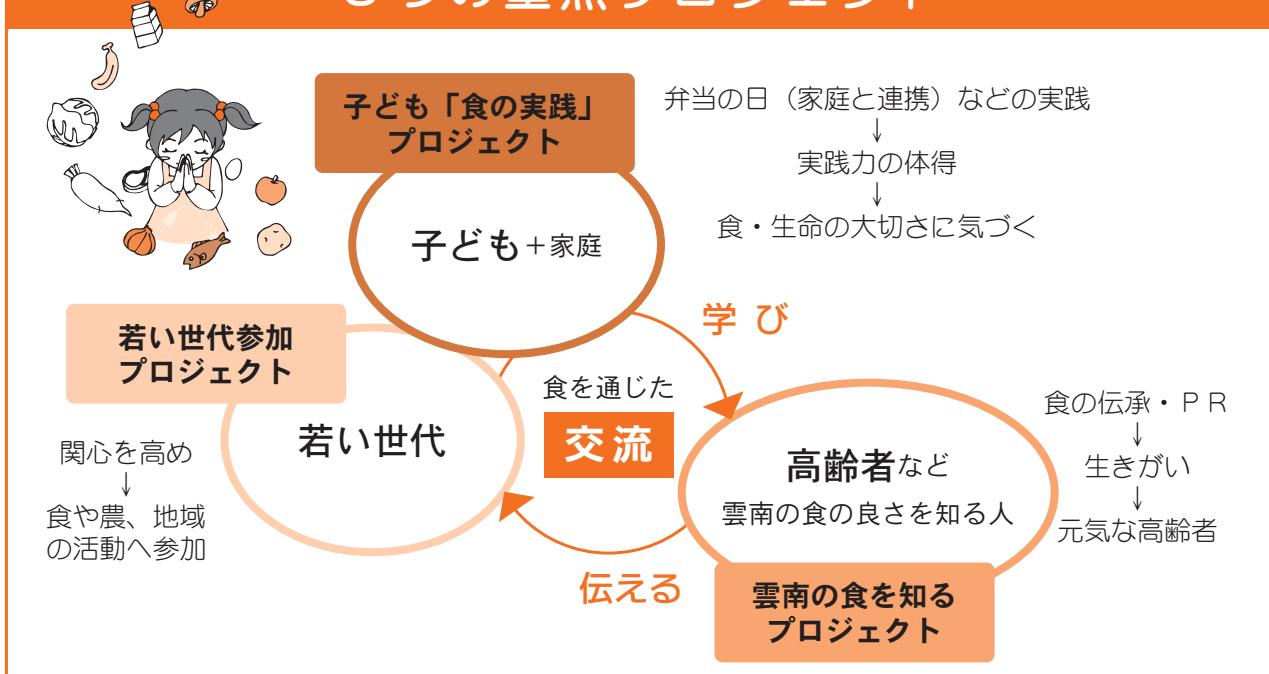
**若い世代参加プロジェクト**では、なにかと多忙な若い世代に向けた取り組みを行います。どのように食生活を送るかで、将来の健康、そして人生が変わります。成人式など様々な機会にPRし、体験活動を行っていきますので、お気軽にご参加ください。今まで面倒だと思っていたことの中に楽しさが発見できるかもしれません。

**雲南の食を知るプロジェクト**では、高齢者をはじめ、雲南の食の良さをよく知る皆さん之力に期待しています。市内外で高い評価を受けている雲南の食。残念ながら子どもたちや若い世代の多くは、そのことを実感していません。地域で採れたものを美味しい食べる術、受け継がれてきた英知を、様々な機会を通じて次の世代へお伝えください。雲南の食が好きになったら、きっと雲南市自体も好きになるのではないかでしょうか。そんなことも期待しています。

食は世代や地域を越えて人をつなぎます。地域の中のつながりが希薄になってきたと言われますが、食育を通じて新しい人ととの関係をつくることができるはずです。「食」をきっかけとした様々なつながりが市内に広がることを願っています。

【問】健康推進課 ☎0854-40-1045

### 3つの重点プロジェクト



- 市報うんなんは、お近くの総合センターや公民館もあります。
- 市報うんなんに対するご意見、ご感想はこちまで!

政策企画部 情報政策課  
[unnan-city@city.unnan.shimane.jp](mailto:unnan-city@city.unnan.shimane.jp)

人口 43,791人 男性… 21,071人  
世帯数 13,679世帯 女性… 22,720人  
(平成21年12月1日現在)